

平成 30 年 11 月 15 日

質 問 事 項 ・ 回 答

案件名称： 平成 30 年度ポリ塩化ビフェニル（PCB）使用安定器の
分別分析作業等業務委託（概算契約）

大 阪 市 環 境 局

番号	質問事項	回答
1	<p>分離可能タイプ安定器の予測数量について、どれくらいが分離できるかを大凡想定されているのでしょうか？「支出金額の内訳」に8検体とありましたので、ある程度現地確認はされているものと思いますが、何個くらいが分離できるのかによって作業の日数が変わってきますので、ご教示頂きたいです。</p>	<p>過去の分別に係る実績では、本市の保管部局ごとにコンデンサー外付け型安定器の割合が大きく異なっていたため、本業務委託は概算契約として、実数量によって清算することとしています。</p> <p>なお、ご質問のコンデンサー外付け型安定器の予測数量については、PCB 使用安定器がドラム缶36本分程度、そのうちの8本がコンデンサー取り外し後の安定器トランス部を保管するものとして想定しています。そのため、コンデンサー外付け型安定器は約2割から3割程度発生するものと考えていますが、実際の分別作業によって数量は増減する場合があります。</p>
2	<p>「4業務内容-(2)-6PCB非使用安定器は現有の保管容器等に収納する」とありますが、現有の保管容器についてはPCBの分析はしなくてもいいという理解でよろしいでしょうか？</p>	<p>お見込みのとおりです。</p> <p>仮に現有の保管容器がPCBに汚染されている場合は高濃度PCB廃棄物としてドラム缶に収納してください。</p>
3	<p>蛍光灯安定器の総数について、2,023個から変動はありますか？</p>	<p>安定器の予定数量については概算であり、変更することがあります。なお、本業務委託は概算契約のため、実数量によって清算します。</p>
4	<p>蛍光灯安定器の中の切り離し安定器の個数を教えてください。</p>	<p>回答番号1のとおりです。</p>

5	分析検体について、拭き取り分析についてはドラム缶 8 本という認識でよろしいでしょうか？	お見込みのとおりです。ただし、分別作業等によって発生したコンデンサー取り外し後の安定器トランス部の数量によって、拭き取り分析を行うドラム缶本数が増減する場合があります。
6	PCB 濃度分析とありますが、トランス・変圧器の絶縁油分析でよろしいでしょうか？	PCB 濃度分析とは、コンデンサー外付け型安定器からコンデンサーを取り外して残ったトランス部を収納したドラム缶 1 本ごとに JIS K0060 - 1992「産業廃棄物のサンプリング方法」に準じて、3 つサンプリング（拭き取り）したものを 1 検体として、PCB 濃度分析してください。